

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第73期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 光夫
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 芝山 哲
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 芝山 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第2四半期 連結累計期間	第73期 第2四半期 連結累計期間	第72期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	10,494,823	10,163,171	20,555,888
経常利益 (千円)	587,905	474,386	1,019,142
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	407,581	301,510	735,045
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	486,320	319,153	662,297
純資産額 (千円)	8,932,605	9,269,369	9,110,480
総資産額 (千円)	20,928,455	21,552,327	20,656,722
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	35.80	26.49	64.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	42.1	42.4	43.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	856,588	345,883	1,700,654
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	402,065	237,136	902,221
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	925,074	40,991	348,332
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	3,375,639	3,194,974	3,138,039

回次	第72期 第2四半期 連結会計期間	第73期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	14.08	15.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の世界経済への影響懸念が高まり、先行き不透明の状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向や選別消費傾向の高まりに加え、原材料価格や物流費の上昇もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは自社商材の拡販と提案営業の強化に加え、海外市場取り込みに向けた様々な取り組みを強化いたしました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は101億63百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

製品の種別別売上高では、カラメル製品は、天候不順の影響で飲料向けなどがやや減少し、18億87百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。乾燥製品類は、国内の粉末茶や粉末調味料などの自社商材は好調ですが、中国の粉末受託製品の減少と製品戦略見直しの影響もあり、29億51百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が好調に推移し、27億14百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。冷凍製品は、国内の冷凍和菓子が順調に拡大しましたが、中国のデザート関連製品が減少し、19億64百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。その他は、子会社の受託加工がやや増加しましたが、調味料関連製品が減少し、6億45百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

利益面につきましては、ユーティリティークストや物流費の上昇に加え、研究開発費の負担増もあり、合理化効果で吸収できず、営業利益は4億84百万円（前年同四半期比22.1%減）、経常利益は4億74百万円（前年同四半期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産の残高は、116億23百万円（前連結会計年度末は118億50百万円）となり2億26百万円減少しました。その主なものは、受取手形及び売掛金の減少（3億3百万円）等であり

(固定資産)

当第2四半期連結累計期間末における固定資産の残高は、99億28百万円（前連結会計年度末は88億6百万円）となり11億22百万円増加しました。その主なものは、有形固定資産の増加（8億1百万円）、無形固定資産の増加（3億12百万円）等であり

(流動負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債の残高は、97億13百万円（前連結会計年度末は88億8百万円）となり9億4百万円増加しました。その主なものは、その他の増加（10億49百万円）等であり

(固定負債)

当第2四半期連結累計期間末における固定負債の残高は、25億69百万円（前連結会計年度末は27億37百万円）となり1億67百万円減少しました。その主なものは、長期借入金の減少（1億72百万円）等であり

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産の残高は、92億69百万円（前連結会計年度末は91億10百万円）となり1億58百万円増加しました。その主なものは、利益剰余金の増加（1億41百万円）等であり

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して56百万円増加し、31億94百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億45百万円（前年同四半期は8億56百万円の獲得）となりました。

これは、減価償却費4億61百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億37百万円（前年同四半期は4億2百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出10億24百万円、無形固定資産の売却による収入5億86百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は40百万円（前年同四半期は9億25百万円の獲得）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出1億83百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億81百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,400,000	11,400,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,400,000	11,400,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株 式 総数残 高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
東洋水産株式会社	東京都港区港南2-13-40	2,005	17.61
UNITED FOODS INTERNATIONAL 株式会社	東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル	1,393	12.23
ユタカフーズ株式会社	愛知県知多郡武豊町字川脇34-1	1,000	8.78
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	558	4.90
株式会社常陽銀行 (常任代理人 日本マスター トラスト信託銀行株式会社)	茨城県水戸市南町2-5-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	542	4.76
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	325	2.85
魚住敏子	栃木県真岡市並木町	282	2.47
仙波糖化工業従業員持株会	栃木県真岡市並木町2-1-10	267	2.35
理研ビタミン株式会社	東京都千代田区三崎町2-9-18	150	1.31
芳賀通運株式会社	栃木県真岡市鬼怒ヶ丘8-3	147	1.29
計	-	6,671	58.60

(注) 発行済株式(自己株式を除く。)総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(6)【議決権の状況】
 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 16,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,379,300	113,793	-
単元未満株式	普通株式 4,700	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	113,793	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木町 2丁目1番地10	16,000	-	16,000	0.14
計	-	16,000	-	16,000	0.14

(注)発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,153,039	3,209,974
受取手形及び売掛金	4,733,209	4,430,049
商品及び製品	1,950,630	1,963,007
仕掛品	824,980	775,245
原材料及び貯蔵品	924,369	838,327
その他	264,713	407,724
貸倒引当金	582	547
流動資産合計	11,850,361	11,623,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,496,434	3,422,910
機械装置及び運搬具(純額)	2,067,275	2,102,907
その他(純額)	936,098	1,775,103
有形固定資産合計	6,499,808	7,300,921
無形固定資産	253,844	566,069
投資その他の資産		
投資有価証券	1,547,748	1,565,797
繰延税金資産	385,358	363,370
その他	129,292	141,844
貸倒引当金	9,691	9,458
投資その他の資産合計	2,052,708	2,061,553
固定資産合計	8,806,361	9,928,544
資産合計	20,656,722	21,552,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,813,724	2,393,709
短期借入金	3,912,744	4,237,750
未払法人税等	185,190	141,764
賞与引当金	344,006	354,312
役員賞与引当金	17,200	-
その他	1,535,807	2,585,615
流動負債合計	8,808,673	9,713,153
固定負債		
長期借入金	1,173,388	1,001,213
退職給付に係る負債	1,254,347	1,270,517
繰延税金負債	106,255	92,852
資産除去債務	51,589	51,657
その他	151,987	153,564
固定負債合計	2,737,568	2,569,804
負債合計	11,546,242	12,282,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	5,649,867	5,791,112
自己株式	5,108	5,108
株主資本合計	8,348,368	8,489,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	718,023	733,419
為替換算調整勘定	38,103	69,274
退職給付に係る調整累計額	19,120	18,783
その他の包括利益累計額合計	660,800	645,361
非支配株主持分	101,311	134,393
純資産合計	9,110,480	9,269,369
負債純資産合計	20,656,722	21,552,327

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,494,823	10,163,171
売上原価	8,214,036	7,923,806
売上総利益	2,280,786	2,239,365
販売費及び一般管理費	1,658,475	1,754,867
営業利益	622,311	484,497
営業外収益		
受取利息	999	1,823
受取配当金	13,140	16,134
その他	19,135	20,116
営業外収益合計	33,276	38,074
営業外費用		
支払利息	31,992	14,491
為替差損	17,265	15,710
その他	18,424	17,983
営業外費用合計	67,682	48,185
経常利益	587,905	474,386
特別損失		
投資有価証券評価損	-	6,055
特別損失合計	-	6,055
税金等調整前四半期純利益	587,905	468,331
法人税、住民税及び事業税	205,629	122,296
法人税等調整額	57,962	6,658
法人税等合計	147,667	128,954
四半期純利益	440,237	339,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,656	37,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	407,581	301,510

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	440,237	339,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,693	15,395
為替換算調整勘定	1,274	35,955
退職給付に係る調整額	1,114	336
その他の包括利益合計	46,082	20,223
四半期包括利益	486,320	319,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,557	298,479
非支配株主に係る四半期包括利益	35,762	20,674

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	587,905	468,331
減価償却費	454,401	461,544
貸倒引当金の増減額(は減少)	791	268
賞与引当金の増減額(は減少)	27,318	10,306
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	17,200
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	41,174	24,733
長期未払金の増減額(は減少)	802	239
受取利息及び受取配当金	14,140	17,957
支払利息	31,992	14,491
為替差損益(は益)	194	2,057
投資有価証券評価損益(は益)	-	6,055
固定資産除却損	403	5,412
売上債権の増減額(は増加)	525,811	394,514
たな卸資産の増減額(は増加)	509,095	111,409
その他の流動資産の増減額(は増加)	315,258	136,960
仕入債務の増減額(は減少)	374,587	507,259
その他の流動負債の増減額(は減少)	46,681	335,959
その他	19,585	21,251
小計	1,067,899	504,263
利息及び配当金の受取額	11,169	18,732
利息の支払額	32,832	14,491
法人税等の支払額	189,647	162,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	856,588	345,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	5,000	5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	365,224	1,024,440
無形固定資産の取得による支出	620	336,004
有形固定資産の売却による収入	108	571,316
無形固定資産の売却による収入	-	586,911
投資有価証券の取得による支出	3,783	4,092
有形固定資産の除却による支出	-	4,209
貸付けによる支出	43,000	34,897
貸付金の回収による収入	6,328	8,154
保険積立金の解約による収入	2,800	-
その他の支出	338	2,178
その他の収入	1,664	2,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	402,065	237,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,180,132	286,611
長期借入れによる収入	70,000	50,000
長期借入金の返済による支出	171,375	183,780
リース債務の返済による支出	17,357	22,944
自己株式の取得による支出	50	-
配当金の支払額	136,274	170,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	925,074	40,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,958	10,820
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,373,640	56,935
現金及び現金同等物の期首残高	2,001,999	3,138,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,375,639	3,194,974

【注記事項】

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。当社グループは海外売上高の拡大・グローバル展開を推進しており、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、在外子会社の収益及び費用を期中平均相場により円貨に換算する方法が合理的であると判断したためであります。

この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、前連結会計年度末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	22,451千円	-千円
支払手形	15,906	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料手当及び賞与	335,164千円	327,632千円
賞与引当金繰入額	108,306	111,213
退職給付費用	24,748	21,912
貸倒引当金繰入額	791	268
運賃	305,572	345,421
研究開発費	148,525	181,628

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	3,390,639千円	3,209,974千円
預入期間が3か月を超える定期預金	15,000	15,000
現金及び現金同等物	3,375,639	3,194,974

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	136,607	12.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	170,758	15.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	35円80銭	26円49銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	407,581	301,510
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	407,581	301,510
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,383	11,383

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

仙波糖化工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 治郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。